



火災とやけどへの安全対策コミュニケーションキット  
N.I.C.K.  
(Neurotypical/diverse Independent Communication Kit)

共同開発者:





# 火災とやけどへの安全対策コミュニケーションキット N.I.C.K.



火災とやけどへの安全対策コミュニケーションキット(N.I.C.K.)にご関心をお寄せいただきありがとうございます。

自閉症スペクトラム障害、発達障害、知的障害、コミュニケーションの課題を持つ人々へ火災とやけどについての安全防止の教育をするためにアリサ・アン・ルック・バーン財団(AARBF)は、ピラミッド教育コンサルタントと提携し、火災とやけどへの安全対策コミュニケーションキット(N.I.C.K.)を開発しました。

自閉症の息子さん、ニコラスの母親であるジャクリーン・ラウリタにインスピレーションされて作られた、火災とやけどへの安全対策コミュニケーションキット(N.I.C.K.)プログラムの目標は、防ぐことができる危険にさらされることが多い、そして火災などでやけどや怪我をするリスクが高い特別なニーズを持つ学習者へ救命レッスンや、やけど防止についての教育を提供することです。

火災とやけどへの安全対策コミュニケーションキット(N.I.C.K.)プログラムは、学習者が火災そしてやけど防止安全を理解するために、AARBFの「消防士の安全教育」プログラムからの防災安全メッセージとピラミッド教育コンサルタントのPics for PECS(絵カードセット)の火災ややけど防止についての絵カードセットを組み合わせることで、絵カード交換式コミュニケーションシステム(PECS®)の手順に基づいた表出コミュニケーション、理解コミュニケーションそして絵を使ったストーリーや生活のレッスンをするために役立てることができます。

AARBFとピラミッド教育コンサルタントのパートナーシップにより、姿勢を低くして逃げる;止まって床に倒れ、左右に転がる、2つの非常口を知っていることなどの命を救う安全対策メッセージが、世界中の特別な支援が必要な人々へより効果的に教えることができます。

## アリサ・アン・ルック・バーン財団について

アリサ・アン・ルーチ・バーン財団(AARBF)は、カリフォルニア州に拠点を置く非営利団体で、やけどによって怪我をする人の数を大幅に減らすために予防教育を行い、やけどによって影響を受けた方々の生活の質を向上させることに貢献しています。AARBFは、医療従事者、消防士、救急隊員、やけど医療従事者、やけど生存者、そして私たちのコミュニティを結び、やけど生存者の生活の質を高め、やけどを過去のものにします。[www.aarbf.org](http://www.aarbf.org).

## ピラミッド教育コンサルタントについて

ピラミッド教育コンサルタントは1992年に絵カード交換式コミュニケーションシステム(PECS®)と教育へのピラミッドアプローチの開発者であるアンディ・ボンディ博士とロリ・フロスト、MS、CCC-SLPにより設立されました。弊社の目標は、自閉症や発達障害の分野にて支援されている保護者の方、支援者や専門家の方々のために最高の品質のトレーニング、コンサルテーション、支援についてのサポートを提供することです。役に立つ、実践的、そしてエビデンスに基づいた介入法を使用することで、学校、家庭、職場や地域社会にてどのように効果的にコミュニケーションをとり、自立して生活ができ、社会の一員として過ごすことができるように指導することが私たちの目的です。<https://pecs-japan.com>.

## 視覚的な安全対策の指示に応じることを教えるためのガイド

**目的:** 絵などの視覚的な安全対策指示を見せられたら、学習者は指示のカードに描かれたタスクを完了させる。

**目標領域:** 理解コミュニケーション

### 準備

- 対象の学習者を教えるための最も効果的なプロンプトを見つけ、そのプロンプトをぬいていく学習計画を立てる
- 対象の学習者にとって最適な強化（褒める、トークンなどの視覚的強化システム）を見つけ出し、どのように強化の比率を減らしていくか計画を立てる。

### 指導手順

指導者

- 学習者に絵カードを見せ「これして」と伝える。
- 学習者がタスクを完了するのに最も効果的なプロンプトを一つ使用する
- 学習者が自立するまで、選択したプロンプトを徐々に抜いていく
- 例えば、止まって、床に倒れ、左右に転がるなど、もし、複数のステップが指示に含まれる場合、最初のステップのストップから、もしくは最後の左右に転がるから最初に教えるなど、最初に教えるステップをチームにて決める
- 学習者がタスクを完了した時に強化子を提供する

### スキルの維持/般化

- 災害時の約束の内容は、最初は構造化されたレッスンの中で、そして徐々に構造化されていない環境や計画されていない時間帯に学校や家庭どちらも場所でも教える
- 様々な人々（指導者、保護者、消防士など）がこの指導を行うこと
- タスクをできるだけ早く完了できるようにすることが目標になるので、どれだけ早くタスクを完了できるのかを考慮に入れること

これらの指示を教えるための活動のアイデア

- まねっこあそびをする「こんな事できるかな？」
- または、ベルを鳴らして「これをして」と伝える。目標は火災警報器を聞いた時に（予期していない火災訓練中など）そして「これして」と指示が出された時に、学習者は指示に応じること。

### データ用紙サンプル

日付	視覚的指示	自立 / 正解 (+)	プロンプトあり/誤り(-)

## 災害時の際、言語指示に従う事を教えるためのガイド

目的:安全対策指示に従うように言葉で伝えられた際、学習者は指示に従う。

目標領域:理解コミュニケーション

### 準備

- 対象の学習者を教えるための最も効果的なプロンプトを見つけ、そのプロンプトをぬいていく学習計画を立てる
- 対象の学習者にとって最適な強化(褒める、トークンなどの視覚的強化システム)を見つけ出し、どのように強化の比率を減らしていくか計画を立てる。

### 指導手順

指導者

- 学習者に「止まって床に倒れ、左右に転がる」と言語で指示をする
- 学習者がタスクを完了するために学習者にとって最も効果的なプロンプトを使う
- 学習者が自立するまで選択したプロンプトを徐々に抜いていく
- 例えば、止まって、床に倒れ、左右に転がるなど、もし、複数のステップが指示に含まれる場合、最初のステップのストップから、もしくは最後の左右に転がるからまず教えるなど、最初に教えるステップをチームにて決める
- 学習者がタスクを完了した時に強化子をあげる

### スキルの維持/般化

- 災害時の約束の内容は、最初は構造化されたレッスンの中で、そして徐々に構造化されていない環境や計画されていない時間帯に学校や家庭どちらも場所でも教える
- 様々な人々(指導者、保護者、消防士など)がこの指導を行うこと
- タスクをできるだけ早く完了できるようにすることが目標になるので、どれだけ早くタスクを完了できるのかを考慮に入れること

これらの指示を教えるための活動のアイデア

- まねっこあそびをする「こんな事できるかな?」
- もう一つのアイデアはベルを鳴らしたときに同時に指示を与える。メモ:目標は火災警報器を聞いた時(例えば計画されていない火災練習の時)に言語指示に従えるようにする。

### データ用紙サンプル

日付	言語指示	自立/正解 (+)	プロンプトあり/誤り(-)

## 避難場所へ移動する時のガイド

目標: 特定の避難場所へ行くように指示された時、学習者はその場所へ移動する。

目標領域: 安全衛生

### 準備

- 対象の学習者を教えるための最も効果的なプロンプトを見つけ、そのプロンプトをぬいていく学習計画を立てる
- 対象の学習者にとって最適な強化（褒める、トークンなどの視覚的強化システム）を見つけ出し、どのように強化の比率を減らしていくか計画を立てる。

### 指導手順

#### 指導者

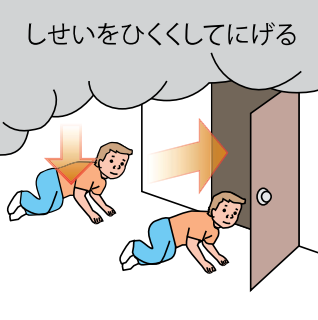
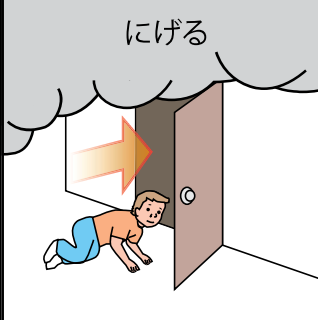

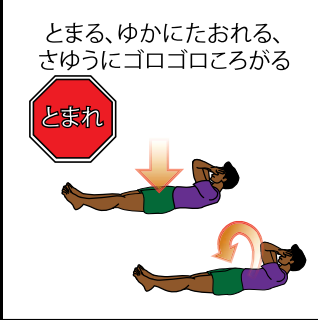
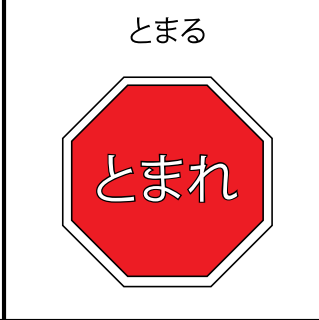
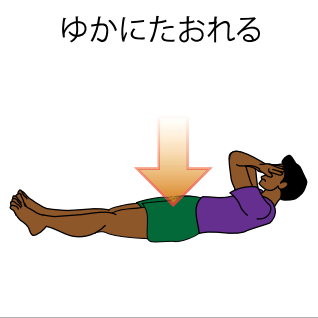
- 窓やドア、または指定された避難場所（例えば：外に植えてある木）に行くように学習者に言う。
- 学習者がその場所に移動する際に最も効果的なプロンプトを一つ使用する（例：身体プロンプト 一緒に指定された場所へ歩いていく）
- 学習者が自立するまで選択したプロンプトを徐々に抜いていく（例：学習者に指定された避難場所にたどり着く最後の一步を一人で歩いてもらう、その次の機会に最後の2歩、その次は3歩など、学習者が指定された避難場所まで一人で歩いていけるまでにプロンプトをぬいていく）
- 学習者が指定された避難場所に到着した時に強化子を提供する

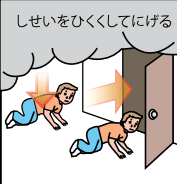
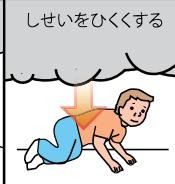


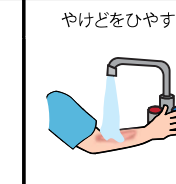
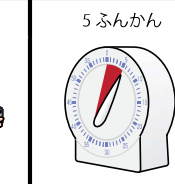

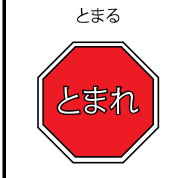
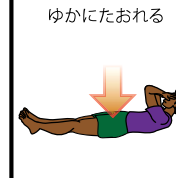
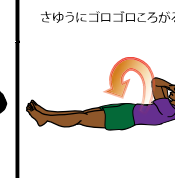
#### スキルの維持/般化

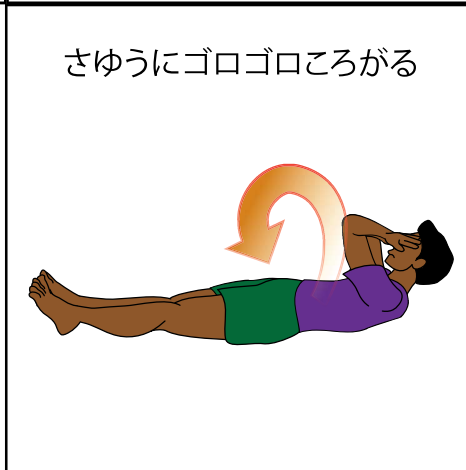
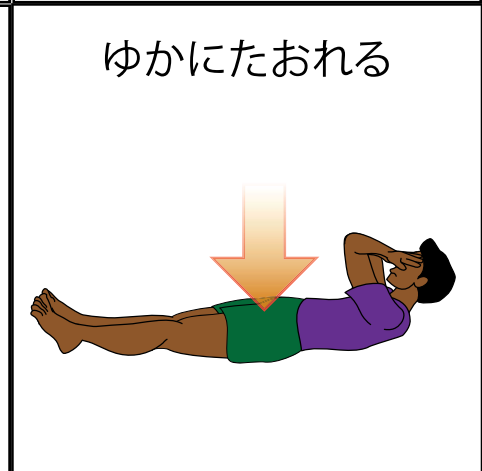
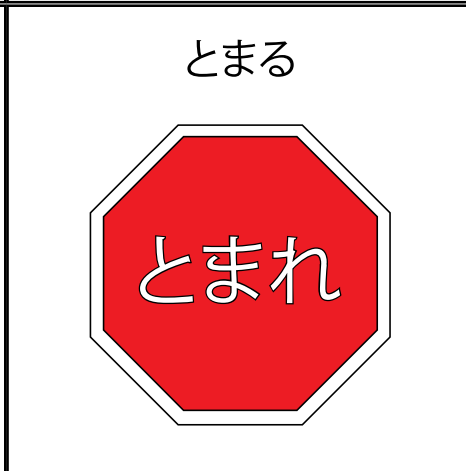
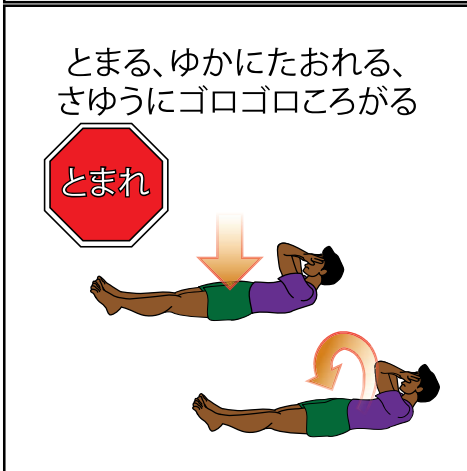
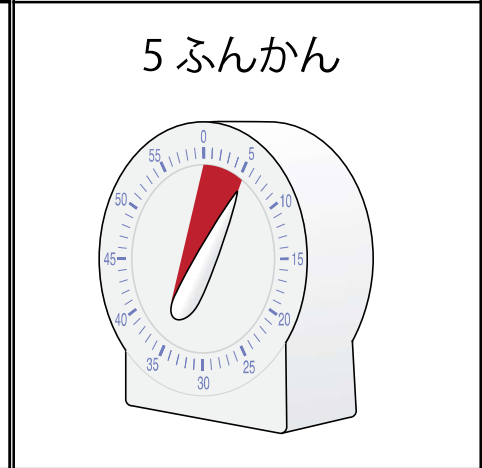
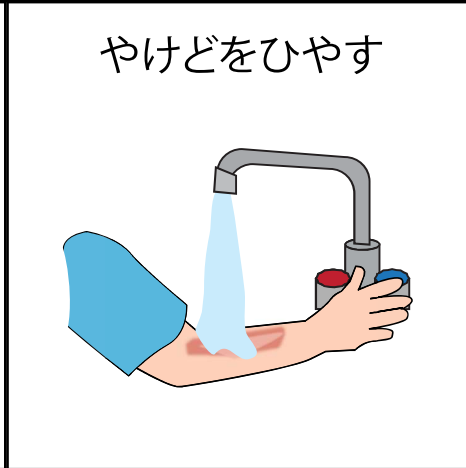
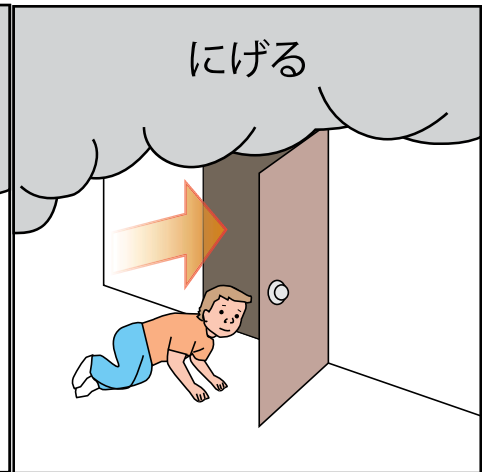
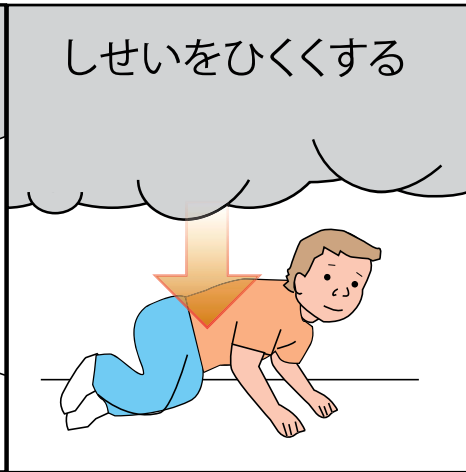
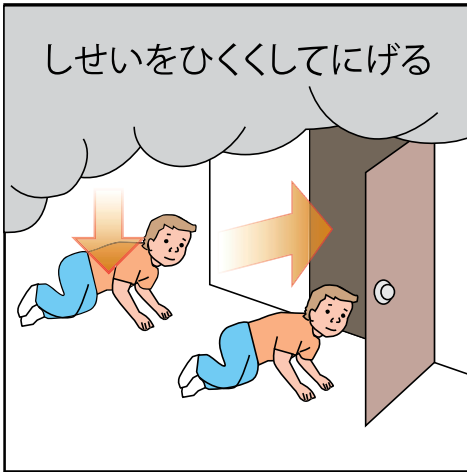
- 災害時の約束の内容は、最初は構造化されたレッスンの中で、そして徐々に構造化されていない環境や計画されていない時間帯に学校や家庭どちらも場所でも教える
- 様々な人々（指導者、保護者、消防士など）がこの指導を行うこと  
タスクをできるだけ早く完了できるようにすることが目標になるので、どれだけ早くタスクを完了できるのかを考慮に入れること

## データ用紙サンプル

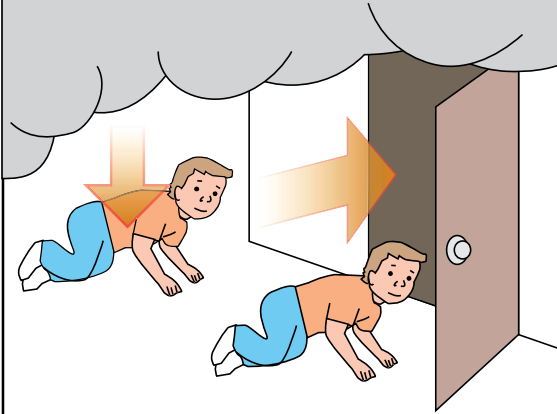
日付	避難場所	自立/正解(+)	プロンプトあり/誤り(-)

しせいをひくくしてにげる 	しせいをひくくする 	にげる 	5 ふんかん やけどをひやす 
やけどをひやす 	5 ふんかん 	とまる、ゆかにたおれる、 さゆうにゴロゴロころがる 	とまる 
ゆかにたおれる 	さゆうにゴロゴロころがる 		

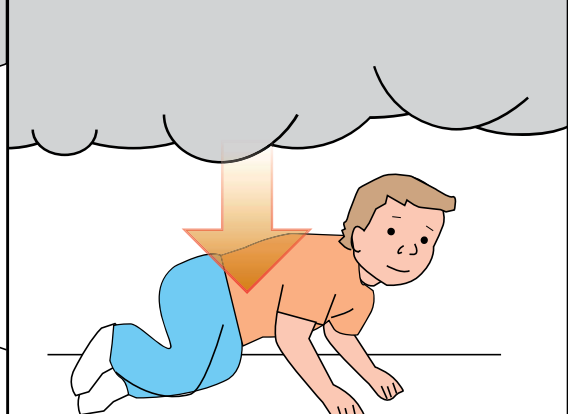
しせいをひくくしてにげる 	しせいをひくくする 	にげる 	5 ふんかん やけどをひやす 	やけどをひやす 	5 ふんかん 
とまる、ゆかにたおれる、 さゆうにゴロゴロころがる 	とまる 	ゆかにたおれる 	さゆうにゴロゴロころがる 		



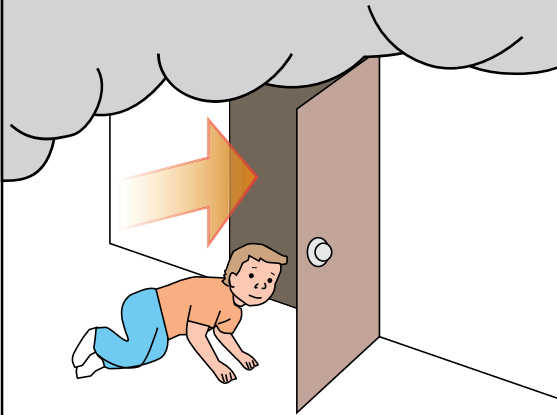
しせいをひくくしてにげる



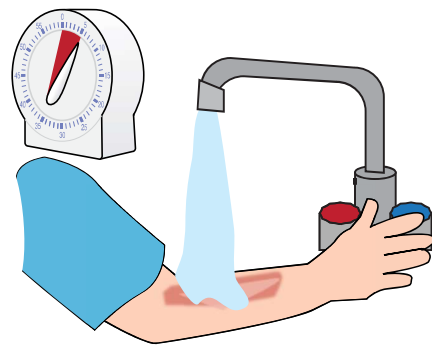
しせいをひくくする



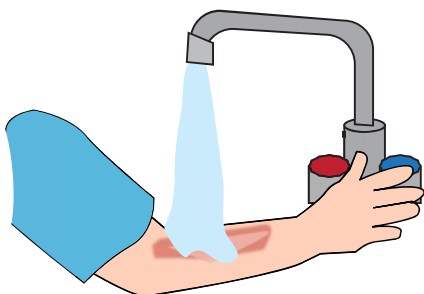
にげる



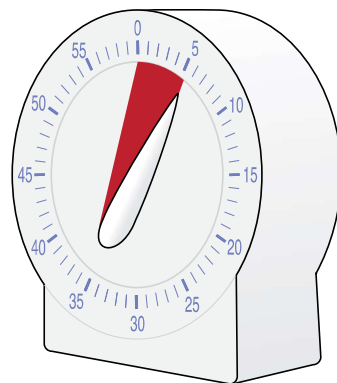
5 ふんかん やけどをひやす



やけどをひやす

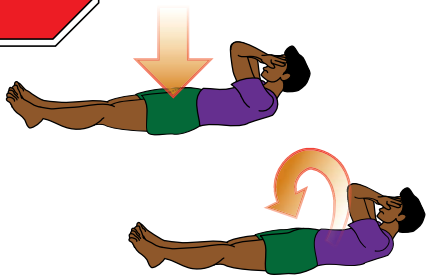


5 ふんかん





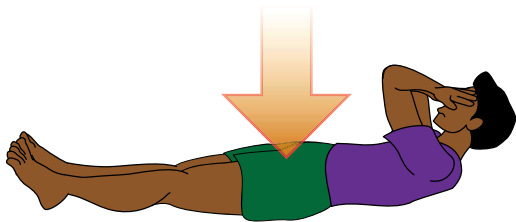
とまる、ゆかにたおれる、  
さゆうにゴロゴロころがる



とまる



ゆかにたおれる



さゆうにゴロゴロころがる

